

楽しい居場所作り

取組の背景・目的

日常の遊びの中で、ぬり絵を楽しむ姿が見られている。掲示することで、「やってみよう」「ていねいに取り組む」「楽しむ」等を経験してほしいという思いで、「ぬり絵コンテスト」として行事を行っている。

- ★目的
- ①好きなぬり絵をして、丁寧に塗って楽しむ
 - ②コンテストの上位をめざして努力する

取組の概要

- ★実地場所 児童館内
- ★対象 小学生以上
(投票は児童館利用者、乳幼児親子、学童児、職員)
時間は小学生児童館利用時間
- ★頻度 年1回
- ★日程 エントリー期間(10日間) / ぬり絵掲示期間、投票日(1週間) / 結果発表
- ★職員体制 ●受付(1名) ●工作室(塗っているのを見守る1~2名)
●投票場所(投票場所につく1名)
●事務室(発表、紹介、賞状・景品を渡す2名)
※(全部別日)
- ★準備物 ●ぬり絵(数種類) ●色えんぴつ ●賞状(3枚) ●参加賞
●投票箱 ●投票用紙 ●えんぴつ
- ★利用者
- ・決められたぬり絵の中から、自分のぬりたいぬり絵を選び塗る。
 - ・塗ったぬり絵をエントリーする。
 - ・掲示されたぬり絵の中から投票する。
- ★職員
- ・エントリーされたぬり絵に番号をはる(名前は見せない)
 - ・エントリーされたぬり絵を番号順に掲示する
 - ・掲示場所に投票箱、投票用紙、鉛筆を設定する。
 - ・上位3名に選ばれた子には、金賞として賞状を渡す。(他の子には参加賞として渡す)

工夫点・留意点

- ・事前に館内にポスターをはり、子どもたちの目に止まるようにしたが、職員が子どもたちにコンテストのことを話し、やる気につなげる。
- ・職員の中では、エントリーするのは、1枚としていたが、2枚目を申し出る子も多かったため承諾すると、さらに意欲を見せ1枚目よりも丁寧に塗っていた。
- ・投票は一人2枚まで選べるようにしたが、投票用紙に

ばん	ばん
----	----

 と書いておく
と書きやすい。
- ・複数投票を防ぐために、投票者の名前を書いてもらうと良い。



取組の効果

- ・自分がエントリーするということで、丁寧に塗る姿が見られた。
- ・自分で納得いくまで、やり直す等意欲的に取り組めた。
- ・様々なぬり絵が壁一面にはられ、みんなの目に止まることで、児童館に来館する乳幼児親子も、子どもたちの取り組みを知ってもらえ、児童館らしい活動の効果も見られた。
- ・上位に選ばれた子は、賞状をもらえたことで喜び自信がついた。上位に選ばれなかった子などは、「来年がんばる！」という意気込みがあった。
- ・児童館にきて参加した子が、発表を楽しみにして発表日に来館した。
- ・「自分に何票入ったか」と気になる子や「絶対自分が一番」だと自身をもつ子もいたり、子どもながらに発表をととても気にしていた。
- ・入賞発表後は、お互いをほめあったり、子どもたち同士の関わりが深まる場となった。

課題・今後の展開

- ・コンテストとして行くと、一層子どもたちのやる気や丁寧さ、がんばりなどが見られることがわかった。
- ・ぬり絵コンテストも年2~3回と増やしてもよい
また、他に「写し絵」や「セル画」なども行えるのではないかと検討する。
- ・児童館利用の小学生にも、もっとPRをして参加者も多くしたい。
- ・乳幼児親子ができるような企画を考えていけると、子どもたちが作ったものや、描いたものなどを掲示してあげると、乳幼児親子も楽しめるのではと考える。
- ・その都度、職員や子どもたちの意見等も聞き、より良い方向へ展開する。